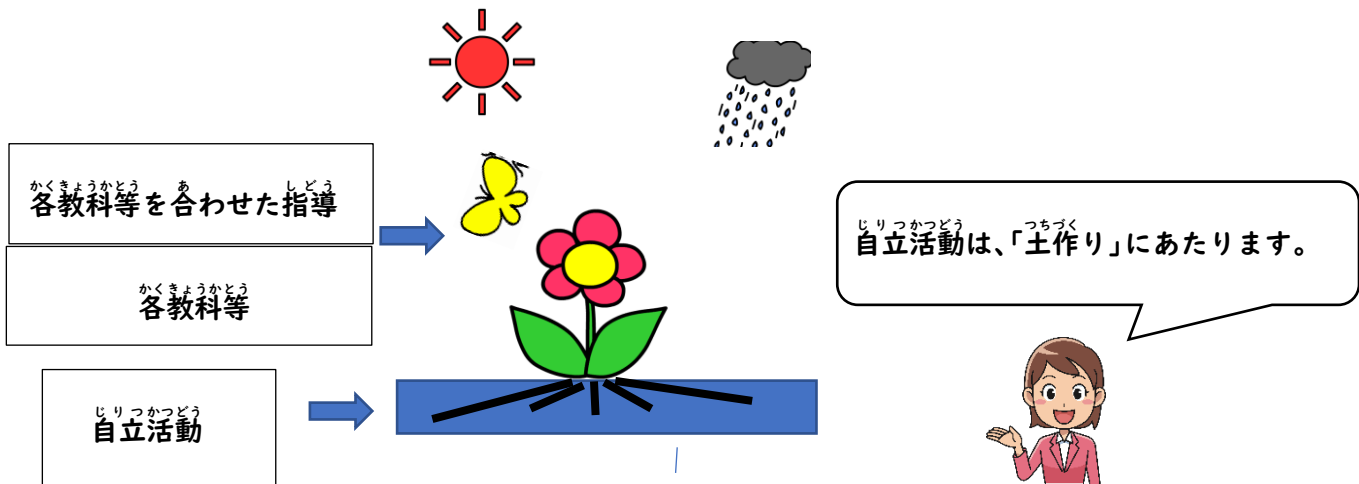




じりっかつどう 自立活動とは

「自立活動」でいう「自立」とは、自分の力を可能な限り発揮して、主体的に生きるということです。

特別支援学校に在籍する子供たちは、一人一人の障害や発達の状態によって、日常生活を送ったり学習をしたりする上で、様々なつまずきや困難が生じています。そこで、それぞれのつまずきや困難を改善・克服するための必要な知識や技能を学んだり、態度や習慣を身に付けたりするための学習活動が、「自立活動」です。言いかえると、これができると生活や学習が楽になるの「これ」にあたる部分です。



じりっかつどう ないよう 自立活動の内容

基本的な行動をするために必要なことや障害による学習上又は生活上の困難さを改善・克服するための活動があります。大きく分けると以下の六つがあげられます。

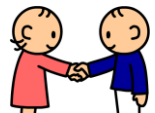
①健康の保持



②心理的な安定



③人間関係の形成



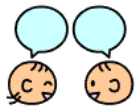
④環境の把握



⑤身体の動き



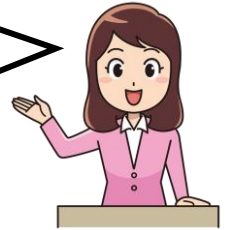
⑥コミュニケーション



参考文献「知的障害特別支援学校の自立活動」下山直人監修
「自立活動ハンドブック」岡山県総合教育センター等

さくねんど じゅぎょう ようす
昨年度の授業の様子です。

じかい しょうがくぶ じゅぎょう しょうかい よてい
次回は、小学部の授業を紹介する予定です。



こころ からだ きんちょう
「心や体の緊張をゆるめる」



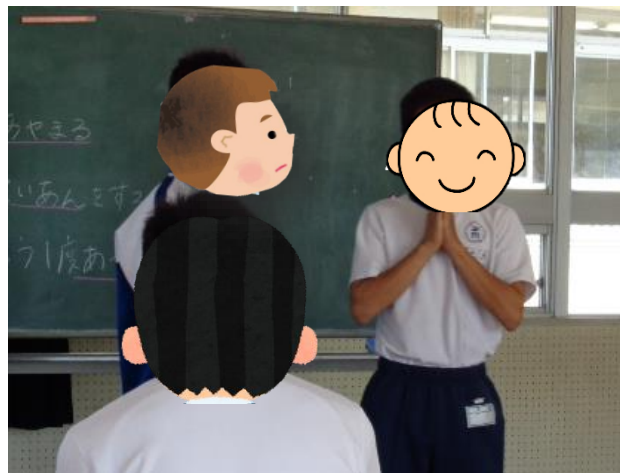
にちじょうせいかつどうさ こうじょう
「日常生活動作の向上」



「ゲームを通してコミュニケーションの練習」



め て きょうおう
「目と手を協応させて」



「ロールプレイを通してソーシャルスキルを学ぶ」

